

矢作川流域圏懇談会通信

R7 流域連携 vol. 1



発行日：令和 7年 5月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆循環フェス名古屋に参加しました！

矢作川流域圏懇談会は、矢作の恵みプロジェクトと共に矢作川流域圏懇談会の活動や矢作川流域の問題・恵みについてブースに立ち寄ってくださった方々に紹介しました。矢作川流域を飛び出し、名古屋を含む伊勢湾流域（伊勢湾流域の中には矢作川流域も含む）で情報発信することにより、伊勢湾流域の中心部の方々にも流域の問題・恵みを知っていただきました。

日 時：令和7年4月19日（土） 10:00~17:00
場 所：エディオン久屋広場
主 催：認定 NPO 法人 中部リサイクル運動市民の会



循環フェスポスター



循環フェスでのブースの様子

◆循環フェス名古屋の開催目的と矢作川流域圏懇談会・矢作の恵みプロジェクトの参加について

1. 循環フェス名古屋の開催目的

循環フェスは、名古屋市を中心に新しい「古着の循環」の仕組みをZ世代と共に広げるリユースの祭典。気軽にリユースやリサイクルに触れることができるワークショップや展示、トークショーなどのステージイベント、安心安全な食材で美味しいフードマルシェなど、参加者の皆さんが楽しみながら循環を知ることができる企画が詰まったイベントです。（循環フェス名古屋HPより）

2. 矢作川流域圏懇談会の参加

■矢作川流域圏懇談会の活動紹介

矢作川流域圏懇談会のこれまでの活動を紹介し、参加者に活動内容や意義を伝えました。

また、矢作川流域圏懇談会が作成している「矢作川流域圏懇談会10年誌」、「流域圏担い手づくり事例集V」、「森のひとをつなぐ」等の配布や、関係団体の資料を配布し、矢作川で起きている問題や恵みを情報発信しました。

3. 矢作の恵みプロジェクトの参加

■矢作の恵みの食品の販売

「矢作の恵みプロジェクト」は矢作川流域圏懇談会 市民部会座長の鈴木建一氏を中心に2025年4月から発足したチームです。流域の問題・恵みを、「食」を通じて知っていただくために活動しています。循環フェスでは矢作川流域圏懇談会と連携して矢作川の恵みで育った「塩おにぎり」、「しし汁」、「アイス」を販売しました。「塩おにぎり」は2024矢作川感謝祭で使用した「ミネアサヒ」に加えて、安城市の「水田貯留米」を使用しました。容器には環境に優しいバガス容器を提供していただきました。矢作川流域圏懇談会はこの活動を後援し、循環フェス名古屋では連携して水田貯留等の取組を情報発信しました。



当日に使用した「塩おにぎり」、「しし汁」POP

提供・使用した食材等		氏名・団体名	
調理		山里カフェMui	
材料	おにぎり	ミネアサヒ (提供)	山本薫久様 (市民部会副座長)
		水田貯留米	安城の農家さん
		青まぜ海苔	坂井海苔店
		饗庭塩	吉良屋
	しし汁	山里カフェMui	
アイス	ペアツリーファーム		
バガス容器(提供)	株式会社折兼		

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 副所長 山路、係長 小池、技官 渡邊

TEL 0532(48)8107

*矢作川に関する情報は、国土交通省 豊橋河川事務所 流域治水課 (cbr-toyo-chousa1@mlit.go.jp) までお送りください。